別紙3-1

研修医による症例呈示及び

研修医へのインタビューについて

（実施要項）

【趣旨】研修医による症例呈示及び研修医へのインタビューにより、研修医の基本的診療能力を把握する

【対象】当院を基幹型臨床研修病院とする研修医２名

（可能な限り２年次とし、病院があらかじめ選定しておく）

※１名しか在籍しない場合は、１名のみとする。

【実施の手順】

　研修医が担当した症例※について、主訴、現病歴などの経過概要のプレゼンテーションを行う（５－１０分程度）。

 次頁の項目に沿って、入院診療録・研修医手帳を参照しながら、調査員が研修医にインタビューを行う。

※　発表症例

1. 今まで入院を受け持ってレポートを作成した必須とされる疾患の中から研修医・病院側が選択した症例1例
2. 研修医が現在、入院を受け持っている症例（可能であれば必須とされる疾患）から当日調査員が指定する症例１例

【記載方法】

次頁の各項目につき「適切/要検討/要改善」のいずれかとその理由や所見を記載する。

※　記載の目安

○：「適切」

△：「要検討」・・・部分的な改善を要する

×：「要改善」・・・直ちに改善すべき状況がある

取扱厳重注意

（研修医インタビュー結果メモ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 結果 |
| 入院 | 目的の理解 | １　入院の目的を正しく理解しているかどうか（診療録を参考に記入）。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 入院中の診察・診断 | 診察能力 | ２　入院診療録の記載が適切かどうか（医療面接での現病歴・既往歴・家族歴など、また身体診察の所見・聴打診・触診などの基本情報が記載されているかどうか）。 |  |
| ３　指導医から研修医の書いた所見等に対してコメントのあるサインが毎日なされているかどうか。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 診断能力 | ４　診察の結果、適切な診断を行ったか（診療録を参考に記入）。 |  |
| ５　患者・家族に適切に説明したかどうか（診療録を参考に記入）。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 入院中の検査・治療 | 計画 | ６　診察の結果、その後の検査計画や治療計画が適切になされているかどうか（診療録を参考に記入）。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 実施 | ７　検査・処置などが安全に実施出来たかどうか（看護記録・診療録を参考に記入）。 |  |
| ８　診療において、他の医療従事者と、適切なチーム医療ができているかどうか。※特に日常的な救急患者への対応を、チームで協働・連携しているか確認。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 退院 | 退院の判断 | ９　退院や退院後の方針の決定が適切になされているかどうか（診療録・退院時サマリ－を参考に記入）。 |  |
| １０　退院時サマリーが適切に記載されているかどうか。また、退院時サマリーの提出期限を守っているかどうか。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| 説明と同意 | その他 | １１　ハイリスクの治療・検査において「説明と同意」が行われたことを診療録に記載しているかどうか。 |  |
| （調査員記入欄） |  |
| その他 | その他 | １２　臨床上の疑問を解決するための情報収集方法を知っており、実践しているかどうか。 |  |
| （調査員記入欄） |  |

病院名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研修医名　　　　　　　　　　（　　年目）